



晴れの国おかやま 文化回廊

# あ晴れ!おやかま国文祭

## 『鏡野に集え! うたびと』

国民文化祭・おかやま2010 平成22年10月30日(土)~11月7日(日)

### 国民文化祭「短歌大会」開催!! (入場無料)

\*大会についての詳細は次のとおりです。ぜひ会場に足をお運びください。

- ◆日時・場所 平成22年11月3日(水・文化の日) 10:30~16:00: 鏡野中学校 講堂
- ◆スケジュール
  - 10:30 開会式
  - 10:50 記念講演
  - 12:00 総評
  - 12:10 昼食・休憩
  - 13:00 選歌講評
  - 15:15 表彰式
  - 15:50 閉会式
  - 16:00 終了予定

#### 【選者】

秋葉四郎・石川不二子・大島史洋・岡 智江・雁部貞夫  
 川野弘之・久々湊盈子・小島ゆかり・小見山 輝  
 坂井修一・佐田 毅・佐波洋子・篠 弘・関内 惇  
 外塚 喬・中島義雄・中根 誠・中野照子  
 能見謙太郎・東 直子・藤原龍一郎

\*13:00~全選者(審査員)が、選歌講評を行います。

#### 【記念講演】(入場無料) 10:50~12:00



◆演題:『半世紀の女性歌人』

◆講師: 歌人 篠 弘

1933(昭和8)年、東京都生まれ。日本文藝家協会理事。現代歌人協会前理事長。日本現代詩歌文学館館長。歌誌「まひる野」代表。宮中歌会始選者。  
 歌集『至福の旅びと』逍空賞。『緑の斜面』毎日芸術賞。評論『近代短歌論争史』現代短歌大賞。『自然主義と近代短歌』。文学博士。紫綬褒章受章。旭日小綬章受章。主著『現代短歌史』全3巻。

#### ◆短歌大会ボランティア応募のお礼

8月末の締め切りまでに、町文化協会員をはじめ、町内外から68名の応募がありました。誠にありがとうございました。大会前に1度説明会を行いますので、よろしく願い申し上げます。

#### ◆短歌作品の審査について

現在審査が終了し、作品の著作権等の確認中です。各部門、第2次審査で21人の各選者が30作品ずつ選出した作品が入選となり、この中から13賞が決定します。入選・入賞者へは通知いたします。また一般の部の応募者全員と小中高校生の部の入選・入賞者には10月下旬に入賞・入選作品の全てを掲載した『作品集』を発送します。『作品集』は短歌大会時に500円で販売予定です。

#### ◆お問い合わせ

第25回国民文化祭鏡野町実行委員会短歌事務局

(鏡野町教育委員会 生涯学習課内) TEL 0868-54-7733 FAX 0868-54-3335

E-mail tanka@town.kagamino.lg.jp

URL http://www.town.kagamino.lg.jp

## 鏡野町の歌碑④ (香々美川流域)

### 「鏡野万葉のみち」歌碑

平成町村合併前の鏡野町は、標高が約130m前後と低く平坦な鏡野盆地から海拔1,200mを越える中国山地脊梁部までを町域とし、岡山県内で最も高低差のある自治体であった。また吉井川の支流である清流「香々美川」が貫流し、その流域は町内で占められたことも誇りであった。町内では

文化協会の活動が活発で、文学関係の歌や句の創作や自然研究も盛んであった。このような素地のもとに町により「鏡野万葉のみち」が整備されたのは、昭和62年である。香々美川流域部の流域16キロ間には万葉集に詠まれる植物150余種のうち、104種もの植物が確認されたことから、この流域に8ヵ所の花壇を整備し、歌に詠まれる古樹や植物の自生地などに50基の木製「万葉歌碑」を整備した。もとより万葉集の歌で山陽・山陰地方で詠まれたものは極めて少なく、岡山県に限れば、備前は作者不詳の1首、備中は2首、わが美作に至っては皆無である。山陰も出雲の12首を除けば、因幡は大伴家持が天平宝字3年(759年)正月に因幡国庁で詠んだ万葉集最後の歌が1首のみ、丹波・丹後・但馬・伯耆などに至っては皆無(石見は柿本人麻呂関係の歌が多い)という状況である。現在建立されている「万葉歌碑」については、旧国別では美作国は53基が確認され、山陽・山陰道方面では播磨国の98基に次いで多い。山陰・山陽での第3位は石見国の16基である。美作国が53基と多いのは、鏡野町の「万葉のみち」の木製万葉歌碑50基が含まれるためである。鏡野町内の短歌愛好者達は、時代も地域も遙かな万葉の世界に思いを馳せ、流域の自然・文化の保全に努めてきた。「万葉のみち」はその精神を具現化したものである。



\*今回をもって鏡野町の歌碑シリーズを終了します。